

市長タウンミーティング

～ テーマ：みんなに優しく健康に暮らせる蕨づくり ～

と き：平成20年7月19日（土）

午前10時30分～12時

場 所：下蕨公民館 集会室

参加者：37人

市出席者：市長、健康福祉部長、市民生活部長

○市長あいさつ

（市長より、タウンミーティングを開催した趣旨と最近の市政の動向、タウンミーティングのテーマに関する市の現状や取り組みについて説明が行われました。）

○意見交換

質問・意見

「社会福祉センターまつり」や「福祉パレード」、「蕨市福祉体験」のイベントの件ですが、従来のなお祭りの的なものを残しつつ、実践的なものを盛り込めないでしょうか。

例えば、「社会福祉センターまつり」では、地域の人たちと利用者などがつながりを持つイベントを企画するほか、介護福祉士やケアマネージャー、ヘルパーなど専門職のかたたちがパネルディスカッションなどを行って、福祉関係の情報や知識の普及を啓発する実践的な内容を盛り込んでみてはいかがでしょうか。また、「福祉パレード」では、ただ車いすに乗ったり押したりなどするのではなく、車いすなどの介助に気をつけなければならないことなど、専門家の助言があればよいと思います。

市 長

今、挙げられたお祭りは市が行っているのではなく、それぞれ社会福祉協議会や実行委員会などが主体で行っています。ですから、今ご提案をされたことはお伝えしたいと思いますし、そうした意見をもっと議論して、よりよいものを作り上げていくことがたいせつだと考えています。

私は昨年から、それぞれのお祭りに参加させていただきました。そのなかで、車い

す体験では、乗ってみるとレンガのようなちよつとしたでこぼこでも、想像以上に振動が伝わってくるのが分かったり、押してみると、傾斜によって力のかけぐあいの難しさに気づいたりして貴重な体験をさせていただきました。また、「社会福祉センターまつり」では、地域のふだん来たことがない人に来ていただくことで、皆さんの取り組みや団体の活動内容などを知っていただく場になっていると感じました。

質問・意見

市立病院は、一時は危機的な状況であったと思いますが、最近はいろいろ充実してきてたいへんよかったです。これからも、市民は他市に行かなくても、蕨市立病院で安心して医療が受けられるよう尽力いただきたいと思います。

また、年に何回か来る医療費の通知の件ですが、合計金額が記載されていません。ですから、合計金額を出すとともに、そのうち自分がいくら負担し、市の保険からはこれくらい出ていると、訴える力のある通知にしていきたいと思います。

更に「ぷらっとわらび」の件ですが、例えば、南町地区から錦町地区に行くには、1時間以上かかってしまいます。できれば市を横断するような、新たなバス路線も考えていただけないでしょうか。

市長

市立病院は、これからも皆さんの期待にこたえられる病院を目指してがんばっていききたいと思います。

医療費の通知の件ですが、現状の確認をして、対応できるものなのかを含め、ご意見として伺っておきたいと思います。

ただ、医療費につきましては増えてきていますので、国民健康保険では、蕨市の一般会計から多額の予算を投入して事業を運営しています。そのなかで、国民健康保険税の値上げの計画がありましたが、市の経費を削り、平成20年度は値上げをせずスタートしております。また、皆さんがいつまでも健康で豊かな生活を送れるよう、健康診断や介護予防講座など、健康づくりを充実させていきたいと思います。

コミュニティバスの「ぷらっとわらび」の件につきましても、利用されているかたなどからご意見を伺って、市民の皆さんの足として利用できるバスの在り方を検討するとともに、路線の充実にも努めていきたいと思います。

(※保険年金課より：医療費の通知は、埼玉県国民健康保険団体連合会が作成しており、埼玉県の共通書式となっています。今後、そうしたご意見があったことを埼玉県に報告するとともに、改善するよう要望していきたいです。)

質問・意見	防災行政無線のお知らせが1日2回ありますが、私に限らず非常に聞きにくいと思います。更に無表情な声で、内容も意味不明なこともあります。また、風の具合では戸田の放送のほうがよく聞こえます。防災担当の人は、今日の放送がどれだけの人が、どれくらい聞こえたかを点検をする必要があるのではないのでしょうか。市民にやさしくお知らせしたいと思うのならば、放送したから伝えたということではなく、防災行政無線だけに頼らず、皆さんに徹底的に伝わる手段を考えていただきたいと思います。
--------------	--

質問・意見	ある自治体では、財政再建のためという理由で警察官を減らすということを目にしたことがあります。防犯パトロールに参加させていただいている私にとって、非常に疑問を感じました。そうしたことから、蕨市の赤字がどうなっているのかが気になりますので、具体的でなくて結構ですので教えてください。
--------------	---

市長

まず、防災行政無線の件ですが、聞きづらくてたいへん申し訳ございません。市内には防災行政無線が37か所あります。今年は1か所増やす予定です。今までに調査をしたことがあります。増やしたから、聞きづらさを解消できるかというところとはそうではなく、課題はまだ残されていると思っています。今後も適宜調査を実施して、スピーカーを設置しなければならない地域や、スピーカーの向きや音量を変えなければならない場所などいろんな面がありますので、解消に努めていきたいと思っています。

視覚や聴覚に障害をお持ちのかたの情報提供につきましては、現在、広報車をボランティアのかたたちによって、点訳や拡大模写、カセットテープへの吹き込みをさせていただいておりますが、これからも皆さんの実情を伺い、いろんな形の情報提供の在り方を考えていきたいと思っています。

市民生活部長

「子どもの安全にご協力を」という放送は、続けてくださいというPTAの皆さんからのご意見が非常に強かったので流しています。アナウンスする声が紋切り型で感情がないという点につきましては、改善していきたいと思っています。また、振り込め詐欺に関しましては、防災行政無線だけではなく、広報車（屋根の上にスピーカーを設置した車）で各地域を走り回って、予防の啓発を行っています。

市長

警察の件につきましては、警察官が県職員であることから、蕨市では増員して欲しいとお願いしているところです。私は「安全・安心のまちづくり」を進めていくには、

防犯パトロールの皆さんのお力と警察の力があいまって実現していくものと思っているからです。

市の財政状況の件につきましては、財政健全化法という法律ができて、その結果を9月に公表しなければならないことになりました。その中にはいろいろな指標がありまして、1つに赤字の比率がどうなっているかというものがあります。蕨市はその指標の結果、赤字ではありません。また借金（公債費^{※1}）の比率も10%を超えていませんので、破綻するといった状況でもありません。ただ、戸田ボートの収益金^{※2}が26億円近く入ってきていたものが現在3億7500万円程度になるなど、決して楽な状況ではありません。また、財政状況は『広報蕨』で6月と12月の年2回で公開^{※3}しています。

=== 11時40分ごろ地震が発生し、会場が揺れました ===

防災行政無線は、震度4を超えると自動的に放送が流れるようになっています。今、その放送が流れていませんので、それほど大きい地震ではありません。

※1 公債費比率は財政構造の弾力性を判断する指標で、公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模（地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の総量・規模）に占める割合を表す比率です。行政運営を健全に行っていくには、この比率が10%を超さないことが望ましいとされています。

※2 戸田ボートの収益金は、戸田市に50%、川口市25%、蕨市25%に配分されています。蕨市は昭和57年度の29億2,500万円をピークに、平成2年度の26億5,000万円以降減少し続けて、平成20年度予算は、約3億7,500万円となっています。

※3 財政事情の公表は、市ホームページ（<http://www.city.warabi.saitama.jp/zaisei/zaiseihp/zaisei-tp.htm>）でも「財政状況等一覧表」や「バランスシート」などで財政指標・市債等残高・基金残高についての状況をお知らせしています。

市民生活部長

埼玉県は昨年、警察官の数を300人増やしています。これは埼玉県が県民1人当たりの警察官の数が全国で最低であったため、今後、毎年増やしていく計画があります。

質問・意見

市でやっている知的障害者更生施設のハート松原でお世話になっている子のお母さんから聞いた話ですが、親戚の葬儀があったとき、子どもを夜の8時まで預かってもらい、たいへん助かったそうです。しかし蕨市には、土曜日や日曜日に一時的に預かってもらえるショートステイはありません。そこで、市の制度として、ショートステイの利用拡大をしていただきたいと思います。

また、保護者のかたは365日介護しており、たいへん疲れていますし、本人自身も自立したいと考えています。障害者福祉計画などにそうした要

望が反映していただけるようお願いします。

質問・意見

先ほど地震が起きましたが、私たち耳が聞こえない障害者は、施設の分かりやすい場所に赤いランプなどを設置していただかないと地震などの災害情報を知ることができません。ですから、火事や災害が起きた場合は、耳が聞こえなくても避難する場所などの情報が分かるようにしていただきたいと思います。

市 長

ショートステイの件につきましては、これまでも障害のあるかたがたからご要望をいただいておりますので、ハート松原で行っている日中一時支援を 8 時までからの程度拡大できるかということも含めて、現在、財政事情を考慮しながら、皆さんの要望を踏まえながら検討しています。

また、災害時の情報提供の在り方ですが、地震など災害が発生したときに避難できる場所は、各地域に避難場所を設置しています。蕨市の仕組みは、避難場所がその人が住んでいる地域によって決められていませんので、その時々に応じて 1 番近くの避難場所に行けるという選択肢を持っていただくようになっています。ですから、避難場所を皆さんに周知していただくよう努めています。

また、今年、地震があったときにどの地域でどのような危険性が出るかを事前に調べた地図、「地震ハザードマップ」を各地域の皆さんの声をお聴きしながら作成し、お配りしたいと思っています。

先ほどご意見がありました、耳の聞こえないかたに対する情報提供の在り方に関しましては、赤ランプの設置という方法があることを教えていただきましたので、今後、また皆さんからの声をお聴きしながら研究していきたいと思っています。

質問・意見

新聞で、国民健康保険税の徴収率が非常に悪いということが掲載されてきました。よく見ますと、川口市や戸田市でも 70 数パーセントと悪いそうです。蕨市の状況はいかがでしょうか。

市民生活部長

蕨市は、84～5 パーセントです。確かに川口市や戸田市と比べるといい方かもしれませんが、決して良い状況とは思っていませんので、100 パーセントに近づけるよう努力していきたいと思っています。

市 長

各市も徴収には苦勞しているようですが、ほかの社会保険料に比べて国民健康保険は高いようですね。ただ、蕨市は値上げをせずに、なんとかやりくりしているところですので、保険料は払っていただかないと成り立たないことから、集めるのにも努力しています。

また、蕨市では、昨年私が市長に就任してから、国保の資格証明証を発行していません。なぜなら、資格証明書を発行しても医療費を窓口で全額負担できる人がほとんどいなく、結果として医者に行けずに病状が悪化するという、税金などの問題以前に、人の命に関わる問題だからです。しかし、決して税金を払わなくてよいというわけではありませんので、国保税などはきちんと徴収するよう努めていきたいと思っています。

質問・意見	市民活動ネットワークというものが昨年から立ち上がっていますが、私は手話サークルを行っているので、ネットワークづくりの中に、耳の聞こえないかたの要望が、今まで以上に入るしくみを盛り込んでいただくことを希望します。
-------	---

市長

現在、町会をはじめ、さまざまな団体やボランティアのかたたちのほかに、NPOなどの組織も出てきていますので、そのいろんな形で展開している活動の横の連携を広げていこうと「市民活動ネットワーク懇談会」を設けました。懇談会はこれまで2回実施し、さまざま議論されているところです。今お話があった件につきましても、ご提案があったということで、そのなかで更に議論していきたいと思います。また、いろいろなかたに参加していただいたり、具体的な提案がありましたら、提案を大いに出していただいたりして、出来ること・出来ないことを含め研究していくことで、住みよい蕨につなげていきたいと思っています。